



佐太神社は出雲大社に次ぐ出雲二の宮といわれている神社です。本殿は大社造りの神殿が三つ並ぶ「三殿並立」といわれる珍しい形式であり、国指定の重要文化財になっています。11月20日から25日にかけて行われる「お忌み祭」は、全国の神々をお迎えする祭礼です。境内に忌串をめぐるして神迎えをし、最終日には朝日山に登り、神送りをします。

島根県八束郡鹿島町
かしまちょう

神々が集う町「鹿島町」

国産第1号の 原子力発電所

昭和四十九年に中国電力島根原子力発電所1号機が、平成元年には2号機が営業運転を開始しており、その発電電力は中国地域の電力量の十七%前後を占めています。1号機は国産第一号の原子炉

鹿島町は、島根半島のほぼ中央部に位置する人口約八千六百人の町です。日本海に向かい三方を山に囲まれた地形で、南側と西側は松江市、東側は島根町に隣接しています。海岸線は変化に富んでおり、島根半島唯一の施設を持つ恵曇（えとむ）漁港があり、漁業と農業の町として知られています。朝日山のふもとには『出雲国風土記』にも記される佐太神社があります。出雲の国では毎年旧暦十月の神無月を神有月（かみありつき）と呼びます。八百万の神々は出雲大社の上の宮で会議を行い、その後で佐太神社に移動してくるそうです。古代から独自の文化が展開した鹿島町からは銅鑠などが出土し、古代史研究でも注目されています。

第五次総合計画の策定

鹿島町では、今年第五次総合計画を策定し、「人と自然でつくる明るく住みよい町」を将来像として掲げ、まちづくりを進める計画です。鹿島町では、定住の促進、交流人口の拡大、産業の高度化と活性化、少子高齢化への対応などがまちづくりの課題となっています。そこで重点プロジェクトとして、町内定住やU・I・Tの促進、農林水産業の基盤整備や産業の振興、保健医療福祉・教育の充実などが計画されています。恵まれた自然環境や充実した公共施設を活かした施策が、これから展開されようとしています。

特集 電源地域のサクセス・ストーリー

島根県 鹿島町

神々が集う町「鹿島町」 1

青山町長に聞く (その1)

全国から新米漁師が集まる町 2

東京の鉄筋工からイカ釣り漁師になった山下さんの話 4

青山町長に聞く (その2)

先見性を発揮し、 下水道整備率100%を達成 6

DATA PAL 鹿島町 9

People プランナー 鹿島町企画課 平塚美樹さん 10
鹿島町企画課 中島真砂樹さん

People サポートします 中国経済産業局 鈴木康久さん 11

Focus 政策・制度

「わがまちづくり支援事業」 12

兵庫県生野町「地域づくり生野塾」

住民と行政のパートナーシップによる 21世紀型まちづくりシステム 14

Energy square

各国の高レベル放射性廃棄物の 処分について 20

情報クリップ

買物客のつなぎ止めを目指しポイントカードを導入 22

女川町商工会（宮城県女川町）

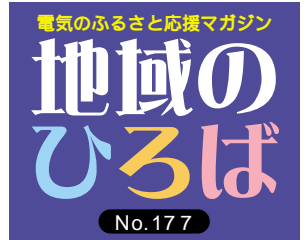
地場産品の高付加価値化を目指したレトルト食品開発 23

西和賀農業協同組合（岩手県沢内村）

「地域のひろば」総括アンケート/ 25

「読者からののがき」分析レポート

表紙イラスト・相原健二



「地域のひろば」は、電気のふるさとの「まちづくり」を応援する情報誌です。

青山町長に聞く(その1)



鹿島町長 青山 善太郎さん

全国から新米漁師が集まる町

漁業就業者は全国的に減少しており、平成十年には二十八万人を割り込んでいます。その一方で、全国の新規漁業就業者数は平成十一年時点で一千二百八十人に過ぎません。鹿島町ではイワシなどを対象としたまき網漁が中心ですが、高齢化や後継者難などによって、漁業就業者数は徐々に減少しています。そこで鹿島町では、求人情報誌に広告を出し、全国から新規漁業就業者を募りました。

漁業の衰退に危機感を持つ

鹿島町の漁業後継者の現状について教えてください。

青山町長 少子化傾向もあって漁業や農業の担い手を確保することは、鹿島町でも大きな課題になっています。特に漁業は収入が安定しない上、仕事もきつく、漁師の家でも息子を漁師にさせたがらないほどで、本当に困っています。鹿島町は水産業が盛んですが、漁業関係者の高齢化が進み、このまま放置しておくとも漁業が衰退してしまうことに危機感を持ったわけです。

それで全国から漁師を募集したのですか。

青山町長 漁師募集の話をする前に、国内の水産業を取り巻く基本的な問題について説明しましょう。

鹿島町に限らず、国内の漁業は魚を捕り過ぎてしまい、水揚げ高が減少し、収入も減少して漁業で生計を立てていくことが難しくなっています。かつての日本海(山陰沖)は、十二ヶ月前まで外国漁船が近づくことができず魚の乱獲があったのです。近年締結された新日韓漁業協定と新日中漁業協定によって、ようやく二百リットルまで主権的権利が及ぶことになり、日本近海の水産資源管理が本格的にできる環境が整いました。

明るい見通しもあります。国内では年間七百万トンの魚が水揚げされ、その一方で年間一千万トンの魚が消費されています。つまり、魚については供給よりも需要が大きいく上回っているのです。日本人は魚が大好きであり、経年的に見ても年間消費量は落ち込んではいないのです。これが、われわれを支える大きな希望です。

水産資源の減少や後継者不足などの問題はありますが、魚に対する安定した消費者ニーズがあるし、水産資源の管理に対する基盤も整

つてきましたので、道は険しいですが、ようやく希望が持てる状況になってきました。

「ついた話をしたのは、そもそも水産業の後継者を確保していくためには、やはり安定した所得を得ていくことがキーポイントになるからです。水産業で稼ぐことができ、将来は船主になれる夢が描ければ、後継者不足も解決の糸口が見つかってくると期待しています。

多少は明るい展望が描けるようになったことが、漁師募集を後押ししたのですね。

青山町長 恵曇漁協では、まき網漁船の業者や漁業生産者など「新規漁業就業者確保検討委員会」を平成九年四月に設立しました。そして後継者問題に対する検討を重ね、町内から漁業の後継者を見つけていることが困難になっていくことから、漁業に取り組みたい人を、町外から積極的に発掘していくことにしました。

そこで求人誌に広告を掲載したわけですね。

青山町長 Uエターンに関する島根県の補助事業を活用して、PR度合いの高い、大手の求人情報

誌に漁師募集の広告を載せたわけです。

求人したところ、約五十人の応募者・問い合わせがあり、まず東京で面接相談会を実施しました。そして、そのうちの九名が鹿島町で開催した面接会に参加しています。一方、新米漁師を応援するため、県の補助制度を活用して空き家を修繕し、漁師が鹿島町に定住できるように準備をしました。さらに、原子力発電所の漁業補償金のうちの一部を積立金として活用して、町独自の制度として支度金や結婚祝い金も整えたのです。

応募者のやる気での採用

どのような点に着目して採用を決定したのですか。

青山町長 応募者の面接時には、採用者である船主が出席し、イカ釣りや底曳網、まき網といった仕事の内容や、拘束時間・休日・給料などの具体的な条件を提示しながら、応募者との話し合いが進められました。

漁師の仕事は「3K仕事」であり、よほどの覚悟がないと続けることが困難です。面接した船主側は、応募者の「やる気」を重視し

て判断したかったのですが、当初は後継者難の危機感から、応募してくれた若者全員に未来を託したいの思いも強く、漁師になってくれるよう説得しました。そして最終的には六人の新米漁師が誕生することになりました。

容易ではない新人漁師の確保

六人は現在も漁師を続けているのですが。

青山町長 六人が漁師になり、現在も数人が漁師を続けています。現在も漁師を募集しているので

青山町長 現在の求人は、島根県を通じたり、船主のホームページを使って継続的に行っています。島根県では漁業への就業希望者に対する相談窓口として「島根県漁業就業者確保育成センター」を設置し、新規漁業就業者の求人、就業に際しての支援や相談、漁業体験機会の提供を行っています。

恵曇漁協では、島根県漁業就業確保育成センターを通じて、現在、カレイ、タイ、ヒラメ、イカなどを対象とした沖合底曳網漁業の乗組員を一名募集しています。現在もまれに漁師になる人がいま

すが、船酔いの克服などの問題があり、現実には二年と持たない状況です。結局のところ、漁師の募集は、試行錯誤を進めていかざるを得ないと考えています。

高付加価値の水産加工品を開発

鹿島町では水産加工も盛んです。

青山町長 漁そのものの方は立ち遅れています。水産加工の方は商品に付加価値が付くことから後継者も育っているのです。水産加工品の中でも「めざし」は全国的にも品質が高く、鹿島ブランドが確立されて関西市場に出荷されています。町内には二十七社の水産加工会社がありますが、同じ町であつても、所得が上昇しているところには、人が集まってくるのです。

また漁協の婦人部では、小魚や未利用魚を活用して水産加工品を生産し、これを一・五次産業と言っているのですが、年間約一千万円の売り上げを計上しています。

漁師の収入安定のために副業の「アワビ養殖」を推進

養殖の取り組みはいかがでしょうか。

青山町長 漁のかたわら、片手間でもできる付加価値の高い「アワビの養殖」も開始しています。漁協のパイロット事業として取り組んでいるのですが、原子力発電所で温排水を活用し、アワビの稚貝を一定の大きさまで養殖してもらい、その稚貝を使って漁業組合が成長させています。養殖のノウハウが徐々に蓄積されてきたので、今後は、事業規模を拡大していく予定です。稚貝の安定供給を目指し、町内に養殖センターを整備する計画を持っています。工夫を重ねていけば、水産業の所得を伸ばすことは、十分可能であると考えています。

コラム

国内の漁業生産量

平成12年度の漁業白書によれば、平成11年の漁業生産量は663万ト、輸入量は342万トとなっている。国内の食用魚介類の需要量はおおむね1,000万トで横ばい傾向で推移しているものの、国内生産量が徐々に減少する一方で、水産物の輸入が増加し、需要を補っている状況である。

東京の鉄筋工から イカ釣り漁師になった 山下さんの話

山下さんは、鹿島町の新規漁業就業者の募集に応募した一人で、現在若手漁師として活躍中です。漁師になった経緯や苦労したことについてお話を伺いました。

求人情報誌を見て応募

新規漁業就業者の募集は、何で知ったのですか。

山下 求人情報誌で漁師を募集しているのを知りました。学校を出たあと、まず、すし屋に下積み奉公し、その後は鉄筋工として働いて二十六歳で工場長になっていました。この仕事は、ともかく体力的にきつくて、今の漁師の方がよほど楽です。しゃにむに働いて予想よりも早く工場長になってしまったので目標がなくなっていたのかもしれない。マグロ漁船にでも乗ろうかと、三浦漁港まで行って情報を集めたこともありました。

それまでの仕事に疑問を持ち、漁師に関心が生まれたところに

ましたが。

海に出る前に、事前教育があったほうが良いと思いましたが。

これからの新規の漁師を採用する場合、事前教育制度が必要だと思いますか。

山下 大変だけれど、事前教育なんかいらぬと思います。これは自分が今まで常に「たたく上げ」で教育される仕事についてきたから感じることもかもしれません。本番でたたき上げられなければ体が覚えぬと思う。それがクリアできないで帰ってしまう人はいずれ帰ってしまう人ではないでしょうか。ただし、船長との相性は大事だと思ふ。初対面の面接では頭に来ましたが、船の中では我慢強く教えてくれて、大変感謝しています。中には、相性が悪いと感じて帰ってしまう人もいます。が、もったいない話なので、そう



漁師の求人を知ったのですか。

山下 そつです。たぶん自分のはじめての仕事がすし屋だったので魚に興味があったと思ふ。

応募した後はどのような手順で漁師になったのですか。

山下 まず、恵曇漁協に直接電話をしました。すると面接したいと言ったので、指定された日時に行ってきたわけですが、希望していた「イカ釣り」の三人の船長と面接することになったわけですが、給料が一番いいことや、少人数で家族的な釣り方であるため、応募する段階で「イカ釣り」に決めていました。

面接した時には何を聞かれたのですか。

山下 三人の船長がいて、二人からは、漁師の生活や給料など「漁師の現実」について説明があった。双方が条件を確認したようなものでした。話し合いながらどんな人間かを見ていたと思いますが、

いつ人には別の船長の下で働けるチャンスをもたらると良いと思っています。

船酔いはどうでしたか。

山下 船酔いと思った以上に大変でした。漁師になって一年以上たつた今でも、「しけ」の時には船酔いすることがあります。

何かあっても漁師を続ける決心で海に入りましたが、「もし一年たつてもひどい船酔いが続くようだったら考え直す」と思ってたくらい船酔いには悩まされました。これは体質の問題だからどうしようもありませんが、飯がのどを通らなくて体力的に参ってしまいつらかった。今では、たまにぶり返しても、「また来やがったか」という感じでもうまくつきあっています。

住まいの問題とは何ですか。

山下 これが一番の問題です。もしこれから漁師を新規採用していくなら、前もって整備してほしいことです。とこには、住まいの保証があったので、どこに住むのかわからないまま鹿島町にやってきました。仮り住まいが二カ月ほど続き、漁協が用意してくれた借家に移って三カ月過ぎ、その後は県と町が現在の家を用意

面接試験のような雰囲気はありませんでした。本当に漁師として生活していく気持ちなのか、決心を確かめられている時間でした。そのときの条件に不満はなかったですか。

山下 事前に調べていたので、こんなもんだらうという条件でした。でも、工場長のときと比べて給料は半分以下でした。

ところで、もう一人の船長とはどうだったのですか。

山下 頭にきて、けんかになりました。その船長から一言「日本の冬の厳しさはわかるか？」と聞かれたから「東京に住んでいてそんなもんわからん」と答えたら、それ以上何も聞かれなかった。こつちも、この人とは「合わん」と思いました。

面接の後はどうでしたか。

山下 漁協から連絡がなかった。で、「だめだったら、隠岐に応募したいから、早く決めてほしい」と連絡しました。そうしたら、面接した三人のうちの一人の船長が雇いたいと言っているとの連絡があり、よく聞いてみると、それは面接のとき、けんかした船長でした。「それはありえぬ。間違いだから確かめてくれ」と言って漁協に

してくれました。やはり採用時には、住まいはきちんとして整備してほしいと思います。

将来は家族のために 船主になりたい

都会出身の漁師として、他の市町村が同じような制度で漁師を新規採用する場合、何に気を付けたら良いでしょうか。

山下 受入体制の整備が大事だと思います。船長ごとに条件が違っていたり、給料以外の条件がよくわからなかったりすると、後でもめたり、すぐに漁師をやめて帰っていく原因になりがちです。そこまできなくても、気まずい気持ちを引きずることになります。前に話した「教育」や「住まい」についても、事前に説明しておく方が、来る者にとっては安心できると思います。

また、本気で漁師になる者は、「将来は自分の船を持ちたい」といった夢を持っているはず。来る者の夢を応援する制度「があったら良いと思ふ」。「家族が生活できる賃貸住宅制度」といった生活に密着した支援制度でも良いかもしれません。ちなみに隠岐では、独立した漁師には「船をり

確認をお願いしました。すると、それは間違いではなく、その船長は「一言話したら長続きする奴かどうかはわかる。あいつは長続きする」と言っていたらしいです。それで、納得したのですか。

山下 納得はできなかったが、雇ってくれるのがその船長だけなので一応我慢したわけです。ともかく漁師になるつもりでいたし、覚悟を決めて鹿島に来ました。

言葉・船酔い・住居に 苦労

漁師になって仕事の環境・条件はどうでしたか。

山下 給料や勤務時間は、最初の約束通りでした。

参ったことはありませんか。

山下 「言葉」と「船酔い」と「住まい」の問題には苦労しました。まず言葉の問題について話してください。

山下 これは、方言と専門用語の問題で、全くわけがわからず本当に困った。イカ釣り船の作業の途中で、わからない方言で知らぬ専門用語を言われても、どうしようもない。それが毎日続きました。結局、新しい言葉として怒られながら覚えるしかない覚悟し

入した後で買い取りに感じる制度「がある」と聞いています。

さらに「やる気があつても資源(魚)がない」状況から脱出できるような法的な対応もお願いしたいです。行政や漁協が協力して「子供に将来の夢を語る漁業の実現」を応援してほしいと思います。

こうやってお聞きしていると、もう鹿島町の一人前の漁師として生涯この地に住む決心がおりになるように見えますが、ここで結婚されるんですか。

山下 もうすぐ結婚します。漁協が「ネルトン・パーティー」を開催してくれて、そのときに知り合った女性と結婚します。その女性には「漁師でもかまわない」と言ってくれたのです。鹿島町に来てこんなことまでしてくれるとは思っていませんでした。とても感謝しています。

先見性を発揮し、 下水道整備率 100%を達成

島根県の下水道整備率は現在約40%です。それに対して鹿島町では100%の整備率です。しかも鹿島町の下水道処理場はトンネル内に建設され、悪臭の全くないクリーンカプセル方式の処理場となっています。鹿島町の下水道は全国の自治体はもとより、海外からも視察客を集めています。

原子力立地を活かした 下水道整備

下水道整備を進めるきっかけは何だったのですか。国や県の反応はどうでしたか。

青山町長 下水道整備の発端は昭和五十三年から六十一年にかけて町長を務めた桑谷道雄町長の時代にさかのぼります。当時原子力発電所の財源を、町民のためにどのように活用していくべきか検討

がなされたそうです。そして「町民の生活に密着したものに役立つ」という基本方針が決定し、「道路を整備するべきか、下水道を整備するべきか」の議論があったそうです。当時は、島根県全体の下水道整備率も低かったのですが、鹿島町は県内でも最低クラスの整備水準だったので、下水道整備を進めることになりました。

下水道整備そのものが、インフラ整備全体の中で高い地位になかったため、国や県の理解を得ることはなかなか困難でした。「道路を整備することが先だろう」という意見もありましたが、しかし下水道整備のスタートをきることできたのは、何といても「原子力発電所を誘致した鹿島町が言っているのだから」と国の方が後押ししてくれたのだらうと思います。

良好な優れたものです。トンネル方式の処理場、クリーンカプセル方式は日本で最初のものです。

また、普通の処理施設では塩素で処理するところを、鹿島町ではオゾンを使って処理しています。下水全量をオゾンで処理しているのも鹿島町がはじめてです。汚水の再利用を考えるとオゾン処理を選択したのですが、この方式だと処理水が一層透明になり、水の再利用ができるわけです。湯水期には市場や公園で利用しています。このクリーンカプセル方式の処理場は、全国から多数の視察を集め、鹿島町の隠れた名所になっています。

接続料の住民負担を 軽減する工夫

青山町長 鹿島町では平成七年に下水道整備率100%を達成しています。これに対して「普及率」とは、各家庭が下水道に接続して利用している状況を示しています。せっかく下水道整備率100%を達成しても、町民に活用してもらわなければ意味がありませんので、普及率の向上も重要ですね。

青山町長 鹿島町では、町民に下水道整備のスケジュールを積極

最低水準だった整備率を短期間で100%まで引き上げたことには、何か特別の理由があったのですか。

青山町長 私は下水道整備によって、し尿をきちんと処理し、生活排水も何とかしたいと考えていました。保健衛生上、非常に重要な事業であるとともに、下水道は生活環境の向上に必要な施設です。また、当時は、港や河川の水質が年々悪化しており、閉鎖水域の透明度を向上させたい気持ちもあったのです。

町内の一部を先行整備し、 全体の賛同を得る

下水道整備に対する町民の反応はいかがでしたか。

青山町長 下水道整備をはじめたころは、一部の農家から「下水道が整備されると、肥やしがなくなってしまう。だから下水道には反対だ」という意見もありました。整備後も、くみとり方式と水洗方式の二種類のトイレを作った家もあったようです。一番の困難は、下水道整備の個人負担ばかりが目立ち、町内の衛生向上に役立つことが町民に理解されていなかったことでした。スムーズに理解が得

られたわけではなかったのです。ではどのように理解を広めていったのですか。

青山町長 一部の地域で整備を先行させて実際の良さを利用者に理解してもらったことがポイントでした。

実際に本郷地区で下水道整備をしたところ「水洗トイレはとても衛生的だ」「これは良いものだ」という評判が立ちました。清潔感に対する期待で、事業に対する支持を得ることができたわけです。また洋式水洗トイレは、足腰に負担がかからず高齢者に評判がよく、下水道に対する理解が広がりました。下水道は福祉の面でも好評を得ることとなり、整備のスピードアップを図ることができました。

町が一丸となって国の事業 を組み合わせる勉強を

どのような事業を活用していたのですか。

青山町長 当時の農水省の農業集落排水事業、漁業集落環境整備事業、当時の建設省の特定環境保全公共下水道事業を利用して、下水道整備を進めました。また、山間部では当時の厚生省の合併浄化槽整備事業を別々に導入すること

コラム

閉鎖水域の汚濁と下水道

日本海の荒波から漁船を守るため、漁港は堅固な防波堤によって囲まれる。その結果、港内は水の交換が行われにくい閉鎖水域となり、水質汚濁が進行し、ゴミが溜まりやすくなってしまふ。港内の水質改善は、水揚げ高に直接影響するものではないが、青山町長は鹿島町を特徴づける施設として漁港をとらえてその環境改善を重視し、下水道整備によって港内の水質を向上させた。

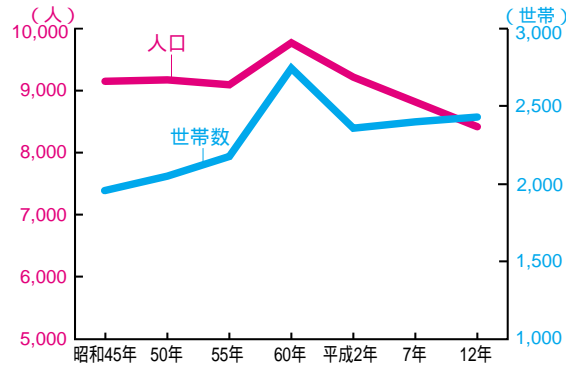


トンネル方式の処理場イラスト図

鹿島町

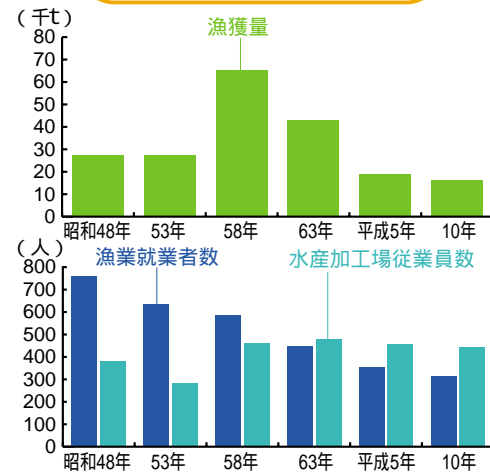
問い合わせ先 / 鹿島町企画課 電話0852 - 82 - 3210
鹿島町ホームページURL / http://www.web-sanin.co.jp/local/kashima/kashima.htm

人口と世帯数の推移



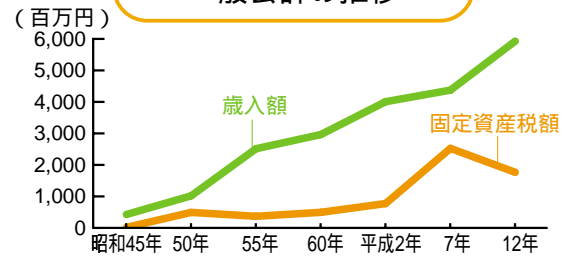
出典：国勢調査データより

水産業の推移

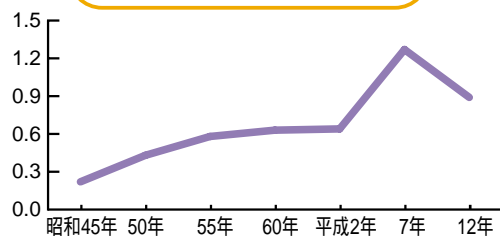


出典：島根農林水産統計年報より(漁獲量)
漁業センサスより(漁業就業数、水産加工場従業員数)

一般会計の推移



財政力指数の推移



出典：鹿島町データより

発電所概要

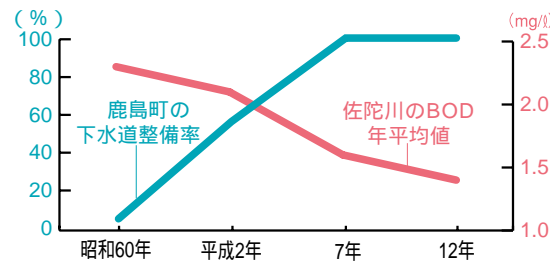
島根原子力発電所(中国電力)

所在地 / 島根県八束郡鹿島町

1号機 出力 / 46万キロワット(原子力) 運転開始 / 昭和49年3月

2号機 出力 / 82万キロワット(原子力) 運転開始 / 平成元年2月

下水道整備率の推移、河川の水質の推移



出典：鹿島町データより(下水道整備率)
松江市測定データより(佐陀川BOD値)
BOD：生物化学的酸素要求量。水中の汚濁物質を微生物が酸化分解するとき消費する酸素量のこと。数値が低いほど汚濁物質が少ないことを示す。

鹿島町の原子力の歩み小史

昭和44年 1号機電源開発調整審議会承認(第50回)

昭和45年 1号機着工

昭和49年 1号機営業運転開始

昭和56年 2号機電源開発調整審議会承認(第84回)

昭和59年 2号機着工

平成元年 2号機営業運転開始

しまねの暮らし発見ツアー

鹿島町を含めた島根半島の一市五町(平田市、鹿島町、八束町、美保関町、島根町、大社町)では、UETA(希望者を対象とした「しまねの暮らし発見ツアー」を開催しています。二泊三日の日程で農業体験、漁業体験、工芸品制作といった産業体験を提供し、実際の田舎暮らしを通して、UETAを一層前向きに検討してもらおうツアーになっています。

今年で三回目となる「しまねの暮らし発見ツアー」では、定任情報の提供や意見交換を行った後で、島根半島の産業体験に移ります。鹿島町では定置網漁業や水産加工を体験してもらうことになっており、より深く地域の暮らしの理解を深めてもらう予定です。

松江駅までの交通費は参加者負担ながら、松江駅から始まる二泊三日の体験ツアーにかかる滞在費、食費、現地交通費は「しまね暮らし発見事業事務局」の負担となります。

まちづくりトピックス

鹿島町役場近くの佐陀川沿いに「鹿島マリーナ」の整備が進んでいます。六道湖から日本海に注ぐ佐陀川は、江戸時代に治水を目的として開削された人工河川であり、この佐陀川に地域振興を目的とした河川マリーナが整備されます。

堤防や護岸などの基礎部分は島根県が事業を進め、マリーナ施設となる係留桟橋やクラブハウスなどについては鹿島町が事業主体となっています。

収容隻数は約二百五十隻(水面係留二百隻、陸上保管が約五十隻)で、このマリーナの運営管理は、鹿島町や商工会などが出資した第三セクター「鹿島マリーナ株」が担当することになっています。

佐陀川には多数のプレジャーボートが係留されており、マリネジャーに対してのニーズがつかえます。鹿島町では鹿島マリーナと連動させた商業施設の整備を検討し、マリーナを地域振興につなげていく計画です。

鹿島マリーナ

エネルギープラザ 鹿島 2001 10月24日開幕

10月24日から26日まで、鹿島町で「エネルギープラザ鹿島2001」が開催されます。電源地域の関係者が一堂に会する、年に一度の大イベントです。

主催 鹿島町 / (財)電源地域振興センター

後援 経済産業省資源エネルギー庁 / 中国経済産業局 / 島根県 / 松江市 / 島根町

日程 10月24日(水) ~ 10月26日(金)

日程	プログラム	時間	会場	
24日(水)	開会式	16:00 ~ 16:30	鹿島町立総合体育館 メインアリーナ	
	オリエンテーション	16:30 ~ 16:35		
	講演会(野村万之丞氏)	16:45 ~ 17:45		
	交流懇親会	19:00 ~ 20:30		
25日(木)	特別シンポジウム	9:10 ~ 11:50	鹿島町立総合体育館 メインアリーナ	
	まちづくり検討会	地域産業活性化部会	14:30 ~ 17:30	鹿島町町民会館 ホール
		観光産業振興部会		マリゲートしまね 多目的ホール(島根町)
		環境部会		くにびきメッセ 501号室(松江市)
		プレゼンテーションコース		鹿島町立総合体育館 会議室
		ワークショップコース ^(*)		鹿島町立総合体育館 サブアリーナ
26日(金)	施設見学会	9:00 ~	クリーンセンター鹿島ほか	
	ワークショップコース ^(**)	9:30 ~ 12:00	鹿島町立総合体育館 サブアリーナ	

(*)ワークショップコースは、25日(2日目)の午後と26日(3日目)の午前にわたり実施します。
(**)ワークショップコースを選択した方は、施設見学会には参加できません。

エネルギーシユ・タウン 鹿島を目指して



人口減少の逆風のなか 1万人の町を目指す

中島係長 鹿島町の将来像「人と自然でつくる明るく住みよい町」は、第四次総合計画を引き継いでいますが、今回新たに、まちづくりのキャッチフレーズをつくりました。「エネルギーシユ・タウン鹿島」です。

鹿島町には原子力発電所があつて、エネルギーの町であること、そしてまちづくりの面でも一層エネルギーシユで活気に満ち溢れた町にしたいと考え、「エネルギーシユ・タウン鹿島」をキャッチフレーズに掲げました。

平塚課長 鹿島町は近年、人口が減少して現在では八千人台になっています。しかし、十年後には一万人を目標としています。

県都松江市と隣接する町の特性を考え、広域的な役割分担を果たしながら、人口増加を達成したいと考えています。主要なプロジェクトとしては、

平成十三年度中に住宅マスタープランを策定し、順次公営住宅や団地を整備して定住人口を増やしていく予定です。県都松江市に比べて地価が安いことや、自然が豊かなメリットを生かす計画です。

鹿島町と松江市とを直結する県道の拡幅工事が完成すると、鹿島町から松江市中心街までのアクセスも便利になります。鹿島町は電源地域として電気料金の割引や、子育て支援策として保育料も安くなっているのですが、こうした条件に加えて、低料金の公営住宅を供給することにより定住促進を図りたいと思います。

ハードを生かしたソフトづくりが重要

中島係長 鹿島町では、下水道道路、集会施設などの社会基盤整備は進みましたが、これからはハードを生かしたソフトづくりが重要な課題になります。

平塚課長 整備の進んだ公共施設を活用したソフト事業では、たくさんの方の協力をお願いしたいのですが、今後ソフト事業の推進がまちの活性化につながっていくと思います。中島係長 来春には鹿島マリ

ーナが完成しますが、この施設も町の産業振興に活用できたら良いと思います。

コラム

町民が主役のソフト事業

鹿島町は文化活動が盛んなところ。アマチュアの住民が主役となって、声楽やピアノのコンサートが町民会館で行われています。クラシック音楽のプロムナードコンサートも好評です。また「かしまレトロ笑シアター」を定期的開催しています。これは石原裕次郎の主演映画等かつての人気映画を上映するもので、とても好評です。また今年、スチールドラムオーケストラの演奏者を招待して、野外音楽堂でコンサートが開催され、大盛況に終わりました。



中国経済産業局
電力・ガス事業部長

鈴木 康久さん

人と自然でつくる 明るく住みよい町 鹿島町を応援します

中国地方の電力需要は、十四年間連続して前年度実績を上回っておりです。平成十一年度は四五億キロワット時となり、対前年度比で三%増加しております。特に今年の夏は暑い日が続く、四回も最大電力を更新し、日電力もこれまでの二億九千九百七十七キロワット時が、二億二千万七千七百七十七キロワット時に更新されています。

この中国地方の電力量の二割弱を、国産第一号の原子力発電所である島根原子力発電所（出力二二八万キロワット）が供給しております。昭和四十九年に一号機が、平成元

年には二号機が運転を開始し、電力の安定供給の実現、一酸化炭素の発生削減といった重要な役割を果たしております。

島根原子力発電所は、長期にわたり順調に運転してきましたが、これは、地元のみならず、ご協力の賜物であります。さらに昨年の八月に開催された電源開発調整審議会におきまして、地元関係者のご理解のもと、三号機の電源開発基本計画への組み入れが了承され、現在着上に向けた諸手続きが進められています。地元のみならずのご理解とご協力に對しまして、厚

くお礼を申し上げます。ごさい

島根原子力発電所が立地する鹿島町は「人と自然でつくる明るく住みよい町」を将来像に据え、電源三法交付金を活用して原子力発電所の立地を生かしたまちづくりに取り組まれています。これまで町民会館、歴史民俗資料館といった教育文化施設や、保育所や保健センター等の医療福祉施設が整備され、心の時代を実現する生涯学習の充実を目標に公民館も整備されました。また海洋性レクリエーション需要の高まりに對応して、プレジャーボートを係留する鹿島マリナーの整備が進められており、来年度には海洋レジャーの発信基地がオープンします。

一方、産業振興を図るために、水産業や農林業関係の施設も整備されてきました。鹿島町の主要な産業である漁業にとって、後継者の育成は大きな課題ですが、鹿島町で取り組まれている漁業後継者育成の試みが実を結び、漁業振興と町の発展につながることを期待しております。

中国経済産業局におきましては、住民レベルの交流事業として「エネルギー交流ひろば」を開催しました。これは、電気消費地と生産地の女性グループが、女性とい

う視点から相互の立場でエネルギー問題について認識を深めていただくものです。昨年二月には電気消費地である広島市の女性が鹿島町を訪問し、今年一月には電気生産地である鹿島町の女性が広島市を訪問しました。シンポジウム等を通じて多様な意見を頂戴しまして、大変参考にさせていただきました。このほか、女性にもエネルギー問題に関心を深めていただくために、原子力情報提供パンフレット「ほあつエネルギー」を作成しております。エネルギーという親しみやすいキャラクターも作り、分かりやすい情報提供を心がけております。

また、産業振興に貢献するため、マーケティング事業も実施しています。この成果として、鹿島町の大豆と湧き水を活用して、オリジナルで風味豊かな味噌づくりが行われ、これがなかなか好評を博しております。最後にになりましたが、今年十月には、鹿島町と電源地域振興センターとの共催で、エネルギープラザが開催される予定です。是非成功することを期待するとともに、今後とも電源地域の振興に結びついた事業を進めたいと思っております。